

# スキndaイビング認定証明書

(Certificate of SkinDiving Skills)

## ■発行者情報 (Issuer Information)

- 発行者: [ ] (※認定をした方のお名前)
- 役職名: [ ] (※ダイビングインストラクター等)
- 所属名: [ ] (※会社名・ダイビングショップ名)
- 連絡先: [電話番号: ] メールアドレス: [ ]

## ■お客様情報 (Diver Information)

- 名前: [ ]
- ライセンス番号: [ ]
- ライセンス発行団体: [ ]
- 資格: [ ]
- 資格取得日: [ ]

## ■座学講習・海洋実習情報 (Skills & Experience)

- 座学講習
  - 講習地: [ ] ・ 講習時間: [ ] ・ テストの有無: [ 有 / 無 ]
- 海洋実習:

。 本数: [                      回] ・ 実習場所: [                      ] ・ 実習地の環境: [                      ]

(例: ビーチダイブなど)

---

## ■インストラクター確認 (Instructor Confirmation)

以下の理論学習を行い、技能要件含め、お客様が十分に習得できていることを証明します。

- 署名: \_\_\_\_\_
- 名前: [                      ]
- 資格番号: [    インストラクター番号    ]
- 連絡先: [    電話番号                      ]



---

## ■確認事項 (Additional Notes)

【理論学習について】 (※講習時間の制限は無い)

- スクイズや、スキンドайビング中に圧縮空気を吸う場合の危険性に関連すること
- 圧力や容積に関すること
- 体温保護の必要性、ハイポサーミア (低体温症)、ハイパーサーミア (高体温症)、熱射病、熱疲労などに関連すること
- スキンドайビングベストやウエイトの使用に関連する浮力や必要性に関すること
- 水中で物を見ることや距離を測る場合の見え方の違い
- シャローウォーターブラックアウトやオーバーワークに関連する気体や呼吸
- スキンドайビングに必要な器材の使用目的、特徴、種類、選定、使用方法、手入れ方法

- ・スキンドайビングに応用できる事故防止、レスキュー、応急手当など
  - ・スキンドайビング計画立案、バディダイビング、安全対策について
  - ・緊急手段など水没したスキンドайバーの引きあげ、水面におけるアシストおよび曳航
  - ・ショック、負傷、溺れ、有毒動植物による傷や中毒などに対する応急手当
  - ・スキンドайビングにおける環境（海流、うねり、波など）
  - ・水生動植物による危険および漁業法規
  - ・スキンドайビング活動に関する計画立案
- 

#### 【スキンドайビング技能要件について】（※海洋での2ダイブの実施が必須）

- ・器材の正しい装着、脱着ができること
- ・スノーケルで呼吸しながら400mをノンストップで泳ぎ切れること
- ・浮いたまま立ち泳ぎや浮き身などで生存水泳を5分間できること
- ・水面でマスク、フィン、ウエイトベルトの脱着ができること
- ・水面で中性浮力となるようウエイト量の決定と調節ができること
- ・水面からのサーフェスダイブ・水中移動をできること
- ・潜降中に器材と体内の空間の圧平衡を取れること
- ・スノーケルクリアを含む、正しくコントロールされた浮上と水面で休息できる浮上技術を実行できる
- ・水深3mを超える水域から、一呼吸でいくつかの小さい物を回収できること
- ・水面において、自分と同じくらいの体格のダイバーを25m曳航できること
- ・意識不明の役を演ずるスキンドайバーを水深3mから水面まで浮上させられること  
(水底でウエイトベルトを取り外すシミュレーション)
- ・状況に応じて正しい方法でエントリー・エキジットができること

- ・ ウエイトの放棄、浮力の確保、足の筋肉けいれんを想定した治し方などを含む、  
インディペンデントレスキュー（セルフレスキュー）技能を実行できること
  - ・ 水面で、ダイバーをアシストし、25m 曳航できること
- 

